

# 内閣府青年国際交流事業の目指す成果

## ○ 目指す成果として 6 事業に共通する考え方

### 1. 外交的効果

- (1) 相手国との間で、政府レベルにおける友好・信頼関係を象徴。
- (2) 相互に自国の理解者を得て、民間レベルでの友好関係の促進。
- (3) 各国における大使館と連携し、外交活動に資する人的繋がり。

### 2. 日本人参加者の人材育成

- (1) 組織でリーダーシップを発揮し、国際的場面で活躍できる人材
- (2) 地域において、国際的視野を持ち、地域活性化に貢献できる人材
- (3) 国際機関などで、異文化間、多国間の調整ができる力を持つ人材
- (4) 訪問地域や訪問国についての専門家

### 3. 国際貢献としての外国人参加者の人材育成

- (1) 日本を理解し、協力し合える人材
- (2) 組織でリーダーシップを発揮し、国際的場面で活躍できる人材
- (3) 地域において、国際的視野を持ち、地域活性化に貢献できる人材
- (4) 国際機関などで、多国間の調整ができる力を持つ人材

### 4. 日本への外国青年招へいプログラムにおける効果

- (1) 日本人が外国人とのコミュニケーションに親しみ、外国文化を理解。
- (2) 日本の若者のディスカッション能力の向上
- (3) 地域の国際化や地域経済への貢献

### 5. 訪問国における効果

- (1) 日本の平和的思考への理解促進
- (2)日本人や日本文化への理解の促進
- (3) 訪問国の人々の異文化対応力の向上に貢献

⇒ 外交的にも重要な事業であり、内閣総理大臣の直轄の下で行うことが適当であることや、青年育成を目的とする事業であり、都道府県等の青少年担当部局と連携し、地域の国際化や日本青年の人材育成を図る観点から、内閣府が所管。

# 内閣府青年国際交流事業の各事業の特色

## 東南アジア青年の船

- 日本とASEAN10か国との共同事業として実施。
- ASEAN各国と日本の次代の中核を担う青年が、互いの社会や文化について理解を深め、連帯感を持ち、生涯にわたる質の高い人的ネットワークを構築することを目指す。
- 約43日間の航海。日本と5か国で訪問国（寄港地）活動。各訪問国では、2泊3日のホームステイ等を実施。

## 世界青年の船

- 交流対象国は、日本側が選定。経費は、基本的に内閣府が負担。
- 「ミニチュア・ワールド」での異なる文化・価値観のぶつかりを重視。船内でのディスカッション、交流、自主活動等が事業の中心。
- 多国間・多文化の中で調整・対応できる人材、組織や地域でリーダーシップを発揮できる人材を育成。

## 日本・中国青年親善交流

- 内閣府と中華全国青年連合会の共同事業。相互に経費を負担。

## 日本・韓国青年親善交流

- 内閣府と女性家族部の共同事業。相互に経費を負担。

## 国際青年育成交流

- 交流対象国は、日本側が選定。経費は、招へいを含め、内閣府が負担。
- 訪問国では代表青年として見られる。

## 青年社会活動コアリーダー育成プログラム

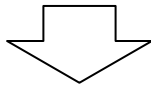
- 青少年、高齢者、障害者の3分野の非営利セクターの中核人材の育成を目的。交流対象国は、主に欧米先進国から、日本側が選定。
- 専門分野の知識と団体運営能力の向上と国際的視野の獲得を目的。

# 事業の特色とプログラムへの反映（例）

## 東南アジア青年の船事業

### <目指す成果>

- ① ASEANと日本の各国間との信頼関係構築、連携の促進。
- ② ASEANと日本の次代の中核を担う青年が、連帯感を持ち、絆を深め、生涯にわたる質の高い人的ネットワークを構築。
- ③ 人材育成の観点の特色
  - ・ 日本とASEAN各国の社会や文化への深い理解
  - ・ 国際的な場面でリーダーシップを発揮できる人材
  - ・ 東南アジアの専門家となる日本青年の育成



### （１）ディスカッションやプレゼンテーションの向上

- ① 船内でのディスカッション
  - ・ コースに分かれて、専門知識を持つファシリテーターの下で取り組む。
  - ・ 「青年の社会参加」を大きなテーマとして、8つのコースを設ける。
- ② 日本・ASEANユース・リーダーズ・サミット（東京プログラム）
  - ・ 別途公募の日本青年100名を交えての2泊3日の合宿型プログラム
- ③ 日本・アセアン交流プログラム（日本国内の地方プログラム）
  - ・ 11カ所で地方プログラム。その際に、地元青年と意見交換・文化紹介。
- ④ ナショナル・プレゼンテーション
  - ・ 自国の社会状況や文化の発信。文化を見せるだけでなく、背景も説明。

### （２）日本とASEANの各国事情の理解促進

- ① ナショナル・プレゼンテーション（船内、訪問国）
- ② 訪問各国での課題別視察

### （３）日本とASEAN参加青年間の連帯意識の育成

- ① 船内での共同生活（3人1部屋）
- ② ソリダリティ・グループ：11か国混成の基本的な生活グループ

### （４）各国の生活文化や国民との相互理解

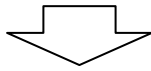
- ① 訪問各国での地元青年との交流
- ② ホームステイ（日本とASEANの寄港国5か国での6か所で各2泊3日）

# 事業の特色とプログラムへの反映（例）

## 世界青年の船事業

### <目指す成果>

- ① 日本と参加各国間との信頼関係構築、参加各国の親日的感情醸成
- ② 船上生活から生まれる連帯感によって、日本と参加国を含めた国際的ネットワークの構築
- ③ 人材育成の観点の特色
  - ・ 国際的な場で活躍できる日本青年人材を育成
  - ・ 国際的視野を持ち、地域においてリーダーシップを発揮できる日本青年人材の育成
  - ・ 参加各国にリーダーシップに富んだ優秀な青年親日家を育成



### （１）ディスカッションやプレゼンテーションの向上

- ① 船内でのディスカッション
  - ・ コースに分かれて、専門知識を持つアドバイザーの下、取り組む。
  - ・ 「青年の社会参加」を大きなテーマとして、コース別に行う。
- ② ナショナル・プレゼンテーション（船内、訪問国）
  - ・ 自国の社会状況や文化の発信。文化を見せるだけでなく、背景も説明。
- ③ P Yセミナー：参加青年が企画・主催するセミナー

### （２）各国事情の理解促進

- ① 各国での課題別視察（日本と寄港地で実施）
- ② ナショナル・プレゼンテーション
- ③ 地元青年との交流（寄港地）

### （３）日本青年と各国青年の連帯意識の育成

- ① 船内での共同生活（３人１部屋）
- ② レター・グループ活動（各国混成の基本的な生活グループ）

### （４）青年のリーダーシップの育成

- ① 自主活動、クラブ活動、P Yセミナーの企画・運営
- ② リーダーシップ・セミナーでの目標設定・振り返り・事業後の行動計画策定

### （５）日本の生活文化や日本国民と外国青年との相互理解

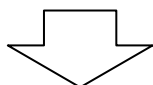
- ① 地方プログラム（２泊３日のホームステイを含む）

# 事業の特色とプログラムへの反映（例）

## 国際青年育成交流事業

### <目指す成果>

- ① 二国間相互交流事業により、日本と交流国との相互理解・信頼関係構築
- ② 人材育成の観点の特色
  - ・ 国際的な場で活躍できる日本青年人材を育成
  - ・ 地域においてリーダーシップを発揮できる日本青年人材の育成
  - ・ 参加各国においてリーダーシップに富んだ優秀な親日家を育成



### 【派遣プログラム】

#### （１）ディスカッションやプレゼンテーションの向上

- ① 合宿型ディスカッション・プログラムと成果発表（事前研修中・訪問中）
- ② 自国文化紹介（文化の披露に加え、背景も説明）

#### （２）訪問国についての理解

- ① 大統領や大臣への表敬
- ② 相手国大使館訪問
- ③ 課題別視察（４か所程度）や相手国の特徴的な場所の訪問
- ④ 日本大使館や訪問国政府（地方を含む）からのレクチャー

#### （３）各国の生活文化や人々への相互理解

- ① ２泊３日のホームステイ

### 【招へいプログラム】

#### （１）ディスカッションやプレゼンテーションの向上

- ① 日本青年との合宿型ディスカッション・プログラムと成果発表（東京・地方）

#### （２）日本事情についての理解促進

- ① 課題別視察（東京で２か所、地方で２か所程度）
- ② 地方の特色ある訪問先の設定

#### （３）日本の生活文化や人々との相互理解

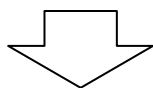
- ① ２泊３日のホームステイ
- ② 日本の地元青年との都内視察や地元視察、参加青年とのディスカッション

# 事業の特色とプログラムへの反映（例）

## 青年社会活動コアリーダー育成プログラム

### <目指す成果>

- ① 日本と訪問国との非営利セクターの運営に関する情報交換
- ② 日本と訪問国との3分野（青少年、高齢者、障害者）における情報交換
- ③ 参加各国と非営利分野における国際的ネットワークの構築
- ④ 人材育成の観点の特色
  - ・ 国際的視野並びに非営利団体のマネジメント力を持った、各分野で活躍する中核的リーダーの育成
  - ・ 各分野における日本青年の高度な専門家の育成
  - ・ 地域においてリーダーシップを発揮できる日本青年の育成
  - ・ 参加各国にリーダーシップに富んだ優秀な親日家青年を育成



### 【派遣プログラム】

#### （１）専門分野の知識向上と団体運営力

- ① ディスカッション・プログラム（研修中と派遣中）
- ② 課題別視察（基本的に意見交換を行う。）
- ③ 訪問国関係者とのセミナーの実施

#### （２）訪問国の制度についての理解

- ① 分野についての法律、制度を含めた訪問国政府からの講義・意見交換
- ② 課題別視察や関係団体訪問・意見交換
- ③ 現地日本大使館からの講義

#### （３）各国の生活文化や人々との相互理解

1泊2日のホームステイ

### 【招へいプログラム】

#### （１）専門分野の知識向上と団体運営

- ① NPOマネジメント・フォーラム（2泊3日。非営利団体の運営に焦点をあててのディスカッション・プログラム。40名の日本参加者を公募。）
- ② 地方において、現地関係者とのセミナーの実施。

#### （２）日本事情についての理解促進

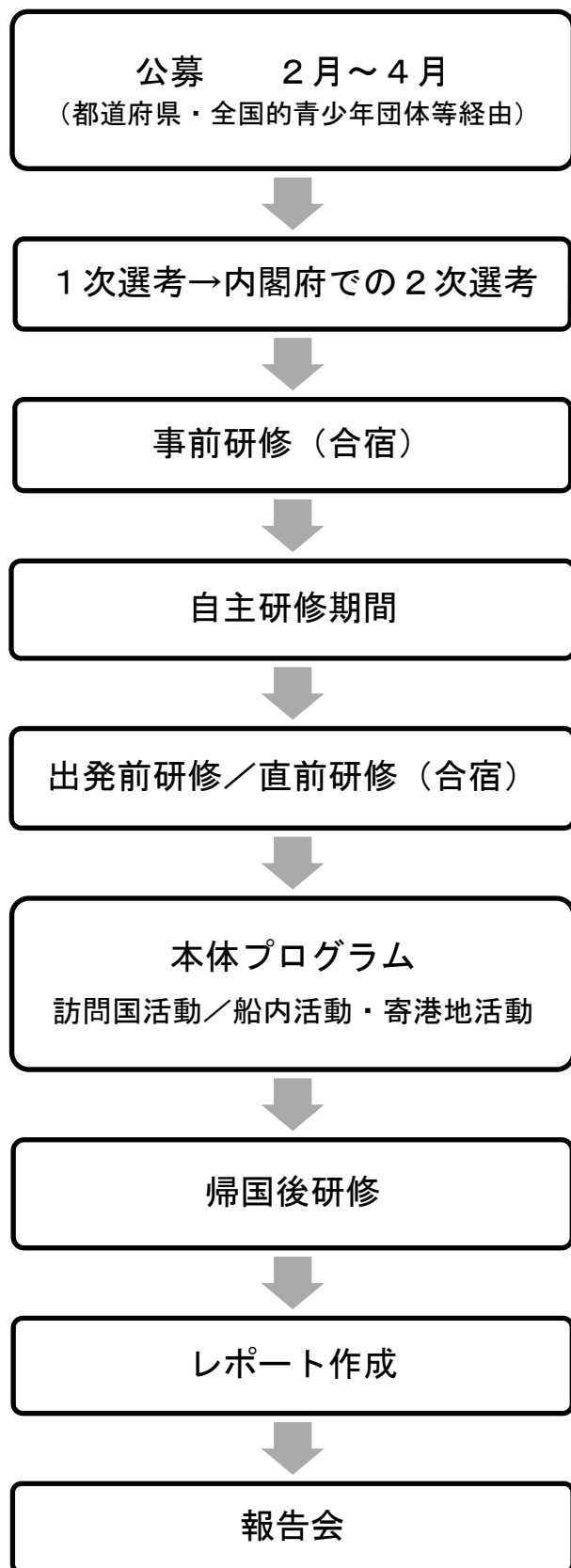
- ① 分野についての法律、制度を含めた内閣府からの講義・意見交換
- ② 課題別視察や関係団体訪問・意見交換（東京で2～3、地方で3～4）
- ③ 受入県からの講義（条例・制度・民間団体との連携等）

#### （３）日本の生活文化や人々との相互理解

1泊2日のホームステイ

# 青年国際交流事業の年間プログラムについて

## 【日本参加青年】



## 【外国参加青年】

### 【日本国内プログラム】

- 東京でのプログラム
  - ・合宿型交流プログラム
  - ・課題別視察
  - ・青年とのディスカッション
  - ・文化交流
- 地方プログラム
  - ・青年とのディスカッション
  - ・課題別視察
  - ・ホームステイ
  - ・文化交流

※地方プログラムや合宿型交流プログラムの企画・運営は、青年が実行委員会を立ち上げ実施。

### (参考) 支援業務の内容

- 派遣・招へい・船内プログラム案の企画
- 国内移動手段、宿泊場所の確保
- 外国青年の国内プログラムへの同行
- 研修の企画・運営
- 実行委員会の設置・プログラム検討
- 国内プログラム日本青年の募集
- ハンドブックの作成、オリエンテーション
- 管理部員としての船内業務
- アンケート案の作成、結果取りまとめ
- レポート取りまとめ、報告書の作成

# 内閣府青年国際交流事業 日本人参加青年の選考について

※倍率は平成23年度の実績

	申込み・中間選考	第2次選考(内閣府)	最終選考(内閣府)	倍率 (募集人数/応募者数)	
東南アジア青年の船	都道府県又は全国的青少年団体等に申込 ↓ 都道府県又は全国的青少年団体等において、それぞれ中間選考 ↓ 内閣府に推薦	①教養試験(択一、論文) ②面接試験 ③語学試験(英会話)	内閣府の行う事前研修(合宿形式)の結果を踏まえ、参加者を最終的に決定	3.3倍 (39/128)	2.3倍 (293/674)
世界青年の船		①教養試験(択一、論文) ②面接試験 ③語学試験(英会話)		1.7倍 (140/237)	
日中・日韓青年親善交流		①教養試験(択一、論文) ②面接試験		3.2倍 (40/129)	
国際青年育成交流		①教養試験(択一、論文) ②面接試験 ③語学試験(英会話)		2.4倍 (50/122)	
青年社会活動リーダー育成プログラム		①面接試験		2.4倍 (24/58)	

※ 教養試験の問題作成と論文試験の採点は、外部有識者(大学教授等)の協力を得て行っている。



## 内閣府青年国際交流事業 外国人参加青年の選抜について

事業名	選抜方法
国際青年育成交流	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 対象国政府が、青年を募集・選考し、在外公館に推薦。</li> <li>・ 在外公館は推薦を受けた者から本事業の趣旨に沿う者を内定し、外務省を通じて内閣府に通知。</li> <li>・ 内閣府は内定者の通知を受けて、招へい青年を決定。</li> </ul>
青年社会活動コアリーダー育成	
世界青年の船	
東南アジア青年の船	ASEAN 各国政府が青年を募集・選考の上決定し、在外公館・外務省を通じて内閣府に通知。
日中青年親善交流	中国政府（中華全国青年連合会）が選考・決定を行い、内閣府に通知。
日韓青年親善交流	韓国政府（女性家族部）所管の青少年交流センターが青年の選考・決定を行い、内閣府に通知。

# 参加青年の研修について

## 事前研修

- 1 訪問国への理解
- 2 日本代表青年として身に付けておくべき内容
- 3 日本代表青年としての実践活動
- 4 訪問国活動への準備
- 5 事業終了後の活動
- 6 団員への個別面談
- 7 団長、副団長等への説明

## 直前研修

- ・ 最終確認、最終準備
- ・ 世界青年の船は、出港前の外国青年との合同研修。

## 帰国後研修

- ・ 事業の成果の振り返り、評価（アンケート記入等）
- ・ 事後活動について

# 「東南アジア青年の船事業」研修内容について（平成23年度）

## ＜事前研修＞ 5泊6日の合宿型

### 1 訪問国への理解

- ① 東南アジア諸国事情の講義（金城大学教授 足立文彦氏 東ア第2回参加青年）
- ② 国際社会への対応について（国連人口基金東京事務所長 池上清子氏 東ア第1回参加青年）
- ③ 既参加青年との懇談

### 2 日本代表青年として身に付けておくべき内容

- ① プロトコール（国際儀礼）とマナー
- ② 代表としての心構え
- ③ ディスカッション講座

### 3 日本代表青年としての実践活動

- ① 船上における分野別ディスカッションの実践
- ② 研修プログラムの自主的進行

### 4 船上並びに訪問国活動への準備

- ① 役割分担
- ② 船上並びに寄港国における文化紹介の準備
- ③ 船上におけるディスカッションプログラムへの準備
- ④ 船上における自主活動の準備

### 5 事業終了後の活動に向けて

- ① 日本青年国際交流機構の活動について
- ② 既参加青年との懇談

### 6 団員への個別面談

## ＜出発前研修＞ 3泊4日の合宿型

- 1 団員に対して、安全管理のための説明及びワークショップ
- 2 出発前の最終準備

## ＜帰国後研修＞ 1泊2日の合宿型

- 1 秋篠宮殿下妃殿下への御接見
- 2 事業の振り返り及び成果のまとめ
- 3 事業終了後の活動について
- 4 成果発表会

## 「世界青年の船事業」研修内容について（平成23年度）

### ＜事前研修＞ 5泊6日の合宿型

#### 1 訪問国への理解

- ① 異文化理解講座（北海学園大学教授 石井晴子氏）
- ② 既参加青年との懇談

#### 2 日本代表青年として身に付けておくべき内容

- ① プロトコール（国際儀礼）とマナー
- ② 代表としての心構え
- ③ 安全管理の説明とワークショップ
- ④ 対人関係について

#### 3 日本代表青年としての実践活動

- ① 船上における分野別ディスカッションの実践
- ② 研修プログラムの自主的進行

#### 4 船上並びに訪問国活動への準備

- ① 役割分担
- ② 船上並びに寄港国における文化紹介の準備
- ③ 船上におけるディスカッションプログラムへの準備
- ④ 船上における自主活動の準備

#### 5 事業終了後の活動に向けて

- ① 日本青年国際交流機構の活動について
- ② 既参加青年との懇談

#### 6 団員への個別面談

### ＜出発前研修＞ 8泊9日の合宿型（うち6泊7日は外国青年と共に）

- 1 異文化理解講座（特に対人関係）
- 2 リーダーシップ セミナー
- 3 社会活動セッション（各国の社会活動事例発表）
- 4 ディスカッションコース別に課題別視察
- 5 レターグループ（生活の基本グループ）毎の都内視察
- 6 国連大学訪問
- 7 管理官講話
- 8 乗船前の最終準備

### ＜帰国後研修＞ 1泊2日の合宿型

- 1 事業の振り返り及び成果のまとめ
- 2 事業終了後の活動について
- 3 帰国報告会

# 「日本・中国青年親善交流事業」研修内容について（平成23年度）

## ＜事前研修＞ 6泊7日の合宿型（国際青年交流会議への部分出席含む）

### 1 訪問国への理解

- ① 外務省の担当者による中国事情説明
- ② 有識者による中国事情講義（早稲田大学教授 小口彦太氏）
- ③ 既参加青年との懇談

### 2 日本代表青年として身に付けておくべき内容

- ① プロトコール（国際儀礼）とマナー
- ② 代表としての心構え
- ③ ディスカッション講座
- ④ 国際青年交流会議における基調講演

### 3 日本代表青年としての実践活動

- ① 駐日大使館訪問
- ② 国際青年交流会議における中国人留学生とのディスカッション
- ③ 国際青年交流会議における懇談会（皇太子殿下啓）

### 4 訪問国活動への準備

- ① 役割分担
- ② 団のスローガン設定
- ③ 訪問国における文化紹介の準備
- ④ 訪問国におけるディスカッションプログラムへの準備

### 5 事業終了後の活動に向けて

- ① 日本青年国際交流機構の活動について
- ② 既参加青年との懇談

### 6 団員への個別面談

### 7 団長、副団長に対して

- ① 団長及び副団長会議 各2回
- ② 団の安全管理のための説明及びワークショップ（団長、副団長に対して）

## ＜出発前研修＞ 2泊3日の合宿型

- 1 団員に対して、安全管理のための説明及びワークショップ
- 2 出発前の最終準備

## ＜帰国後研修＞ 3泊4日の合宿型

- 1 派遣中の振り返り及び成果のまとめ
- 2 事業終了後の活動について
- 3 皇居訪問
- 4 成果発表会

# 「日本・韓国青年親善交流事業」研修内容について（平成23年度）

## ＜事前研修＞ 6泊7日の合宿型（国際青年交流会議への部分出席含む）

### 1 訪問国への理解

- ① 外務省の担当者による中国事情説明
- ② 有識者による韓国事情講義（学習院大学教授 磯崎典世氏）
- ③ 既参加青年との懇談

### 2 日本代表青年として身に付けておくべき内容

- ① プロトコール（国際儀礼）とマナー
- ② 代表としての心構え
- ③ ディスカッション講座
- ④ 国際青年交流会議における基調講演

### 3 日本代表青年としての実践活動

- ① 駐日大使館訪問
- ② 国際青年交流会議における韓国人留学生とのディスカッション
- ③ 国際青年交流会議における懇談会（皇太子殿下行啓）

### 4 訪問国活動への準備

- ① 役割分担
- ② 団のスローガン設定
- ③ 訪問国における文化紹介の準備
- ④ 訪問国におけるディスカッションプログラムへの準備

### 5 事業終了後の活動に向けて

- ① 日本青年国際交流機構の活動について
- ② 既参加青年との懇談

### 6 団員への個別面談

### 7 団長、副団長に対して

- ① 団長及び副団長会議 各2回
- ② 団の安全管理のための説明及びワークショップ（団長、副団長に対して）

## ＜出発前研修＞ 2泊3日の合宿型

- 1 団員に対して、安全管理のための説明及びワークショップ
- 2 出発前の最終準備

## ＜帰国後研修＞ 3泊4日の合宿型

- 1 派遣中の振り返り及び成果のまとめ
- 2 事業終了後の活動について
- 3 皇居訪問
- 4 成果発表会

# 「国際青年育成交流事業」研修内容について（平成23年度）

## ＜事前研修＞ 6泊7日の合宿型

（国際青年交流会議・・・2泊3日の招へい青年との合宿型プログラムを含む）

### 1 訪問国への理解

- ① 外務省の担当者による訪問国事情
- ② 訪問国招へい青年との2国間交流プログラム
- ③ 既参加青年との懇談

### 2 日本代表青年として身に付けておくべき内容

- ① プロトコール（国際儀礼）とマナー
- ② 代表としての心構え
- ③ ディスカッション講座
- ④ 国際青年交流会議における基調講演
- ⑤ 国際青年交流会議におけるディスカッションテーマ別の課題別視察

### 3 日本代表青年としての実践活動

- ① 駐日大使館訪問
- ② 国際青年交流会議におけるディスカッション
- ③ 国際青年交流会議における懇談会（皇太子殿下下行啓）

### 4 訪問国活動への準備

- ① 役割分担
- ② 団のスローガン設定
- ③ 訪問国における文化紹介の準備
- ④ 訪問国におけるディスカッションプログラムへの準備

### 5 事業終了後の活動に向けて

- ① 日本青年国際交流機構の活動について
- ② 既参加青年との懇談

### 6 団員への個別面談

### 7 団長、副団長に対して

- ① 団長及び副団長会議 各2回
- ② 団の安全管理のための説明及びワークショップ（団長、副団長に対して）

## ＜出発前研修＞ 2泊3日の合宿型

- 1 団員に対して、安全管理のための説明及びワークショップ
- 2 出発前の最終準備

## ＜帰国後研修＞ 3泊4日の合宿型

- 1 派遣中の振り返り及び成果のまとめ
- 2 事業終了後の活動について
- 3 皇居訪問
- 4 成果発表会

# 「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」研修内容について（平成23年度）

## ＜事前研修＞ 2泊3日の合宿型

### 1 訪問国への理解

- ① 内閣府の担当者による各分野毎（高齢、障害、青少年）の日本の施策説明
- ② 有識者による訪問国の該当分野についての講義
- ③ 既参加青年との懇談

### 2 日本代表青年として身に付けておくべき内容

- ① プロトコール（国際儀礼）とマナー
- ② 代表としての心構え
- ③ ディスカッション講座

### 3 訪問国活動への準備

- ① 役割分担
- ② 団のテーマ設定
- ③ 個人としてのテーマ設定
- ④ 訪問国におけるディスカッションへの準備

### 4 事業終了後の活動に向けて

- ① 日本青年国際交流機構の活動について
- ② 既参加青年との懇談

### 5 団長、副団長に対して

- ① 団長会議 2回
- ② 団の安全管理のための説明

## ＜出発前研修＞ 2泊3日の合宿型

- 1 出発前の最終準備

## ＜帰国後研修＞ 1泊2日の合宿型

- 1 派遣中の振り返り及び成果のまとめ
- 2 事業終了後の活動について
- 3 成果発表会